

「験（げん）を担（かつ）ぐ」

おはようございます。

この言葉を何と読むかわかりますか？これは「験（げん）を担（かつ）ぐ」と読みます。「験を担ぐ」とは、縁起（えんぎ）を担ぐことです。似たような言葉に「おまじない」とか「ジンクス」などがあります。人がこれから何かしようとするときに決まって何か同じことをすることによって、うまくいくように思うことをいいます。特に勝敗や結果がつきものであるスポーツ選手や芸能人は、試合やステージに上がる前にこの験を担ぐ人が多いそうです。例えば、大リーダのイチロー選手は、毎日奥さんお手製のカレーライスを食べ、球場に入るときは右足から踏み出す。フィギュアスケートの浅田真央選手は、スケートシューズを必ず左足から履き、左足からリンクに入る。女子サッカーの澤穂希選手はネイルアートをすることだそうです。また、芸能人では、舞台に上がる前に背中を三回たたいてもらおうとか、人という字を手を書いて飲み込むなど様々です。皆さんの中にも何か「験を担ぐ」ためにこのようなことをやっている人がいるのではないのでしょうか？

また、今、高校や大学の受験や就職試験のまっただ中、この「験を担ぐ」人が増えてきているように思います。私が住んでいる近くに亀戸天神があります。昨日帰りがけに寄ってみるところ、たくさんの梅を見る人に交じって、多くの受験生が来ていました。お賽銭を投げてお参りしたり、絵馬に受験校を書いて合格祈願をしたりしていました。

いずれにしても、日本人は昔からこの「験を担ぐ」ことを好むようです。自分が毎回決めたことをする「験を担ぐ」のは、本番前の自分を落ち着かせ、集中させ、モチベーションを上げる効果があるかもしれません。また、勝利や成功をイメージさせ、自分の気持ちをうまくコントロールするのに役立つかもしれませんね。

最後に、私は、10月に受けた健康診断でいくつか高い数値が出ましたが、放っておくと良くないと主治医からアドバイスがあり、先週一週間入院しました。自分の普段の生活改善をして悪くならないようにしていこうと決意したところです。今年は例年以上にインフルエンザが流行しており、都内でも休校や学級閉鎖になった学校は2倍以上だそうです。近くの二寺小でも学級閉鎖になった学年があるそうです。いつも言われていることですが、「手洗い・うがい・教室の換気」をしっかりとインフルエンザにかからないように気をつけて学校生活を送りましょう。特に現在受験期を迎えている3年生は、万全な体勢で受験できるように気をつけてください。